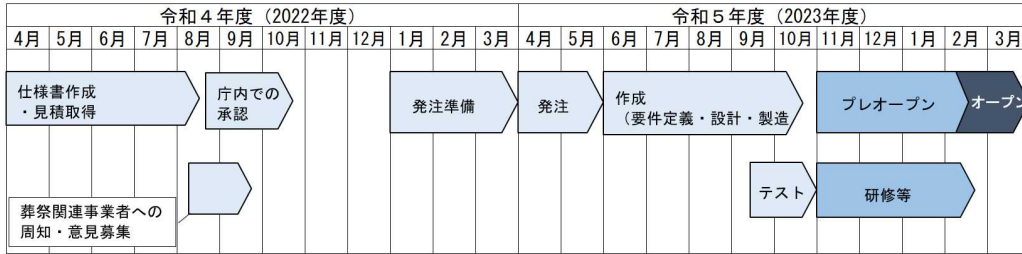
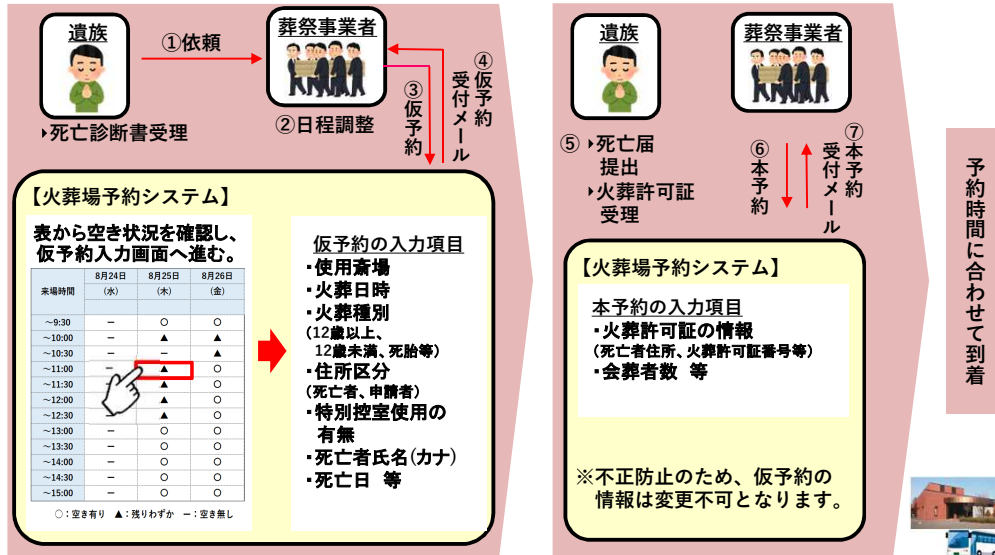


1 スケジュール



2 予約システムの流れ (案)

- 事前登録を済ませた葬祭事業者の方が、パソコンやスマートフォンから空き状況を確認し、予約申込を行う。
- 以下①～⑦の流れのとおり、まず仮予約で時間等を入力して枠を押さえ、その後、火葬許可証を受け取ってから本予約で詳細情報を入力する。



3 葬祭事業者等からのご意見等

- 募集期間
令和4年(2022年)8月29日～令和4年(2022年)9月7日
- 意見募集方法
事業者への郵送及び意見募集チラシの掲示
- 意見等提出数
8件(葬祭事業者7件、霊柩事業者1件)

■ 主な意見

	葬祭事業者等からの意見	札幌市の考え
1	○入力項目や仕様について ・入力項目は出来るだけ簡略とし、仮予約での入力項目は変更の可能性がない項目のみにしてほしい。 ・登録内容が不完全であっても予約できるようにしてほしい。 ・24時間経過していない時間帯は予約できないようにしてほしい。	・いただいたご意見を踏まえ、他都市の導入事例も参考にしながら、入力項目や仕様を検討する。 ・また、入力項目は入力の負担が大きくなりすぎないように検討するが、火葬場の業務を円滑に行うために必要な項目があること、不正防止対策を講じるため一定の運用上の制約が生じることについてはご理解いただきたい。
2	○到着時間について ・到着時間は、予約した時間までであればよいか。また、遅れた場合はどうするか。	・到着時間は、予約した時間の前までにお越しいただくことを考えている。 ・大幅に遅れた場合は、状況に応じて対応することになるので、斎場にご相談いただきたい。
3	○予約システム外の受付について ・突発的な事案(腐乱状態の遺体など)が発生した場合は、予約システム以外で受付してほしい。 ・特別控室使用の有無など予約後の変更が発生した場合は、予約システム以外で対応してほしい。	・基本的に葬祭事業者を介して火葬場を使用する場合は予約システムを活用していただくことを考えている。 ・また、本予約確定後の修正は基本的にはできないが、状況に応じて斎場にご相談いただきたい。
4	○火葬場の混雑対策について ・予約システムを導入しても、10時・11時台の集中は変わらないと思うため、根本的解決に向けて意見交換協議が必要ではないか。 ・午前中だけでも友引を開場してほしい。 ・火葬炉の増築を検討する必要があるのではないか。	火葬場予約システムの導入のほか、友引開場など、今後も多死社会に対応した火葬場を運営していけるよう、施策の検討を進める。

4 これまでの火葬場部会でのご意見

	これまでのご意見 第1回火葬場部会 (R3.1.29)	検討案
1	○予約方法について (古本委員) 予約の受付方法がインターネット、電話、FAXなど複数あると混乱を招くのではないか。 (澤委員) 葬祭業者を通さず、死産の場合など、市民自ら火葬場に持ち込まれる場合はどうするか。	・葬祭業者がインターネットから予約をすることとする。 ・死産など市民が直接持ち込む場合は、特例として電話で受け付ける。
2	○不正防止対策について (小林委員) 不正な予約枠の確保を防ぐ仕組みが必要ではないか。 (中島委員) 葬儀などの時間は、遺族と葬儀社がある程度決めるが、その後宗教者とのすり合わせで時間が変更になることがあるが、時間の修正はできるか。	・不正な予約枠の確保(前もって仮予約でダミー情報を入れておき、業務の依頼を受けた際に本予約で修正)を防止するため、本予約では仮予約の情報の変更を不可とする。 ・時間の修正があれば、再度新たな時間で仮予約を行う。
3	○午後枠への誘導について (山上委員) 直送や法要をしない方は午後に戻ってもらうようなすみ分けが大事。また、午後に誘導するため、午前と午後で金額に差をつけることが必要ではないか。	・仮予約の際に、火葬種別で死産や手足など人体の一部の場合は、午後しか選択できなくすることができる。 ・料金の差については、料金改定の際に併せて検討を行う。

5 予約システム導入に向けた協議事項

- 検討案へのご意見
- その他検討すべき点について

【火葬場の諸元】

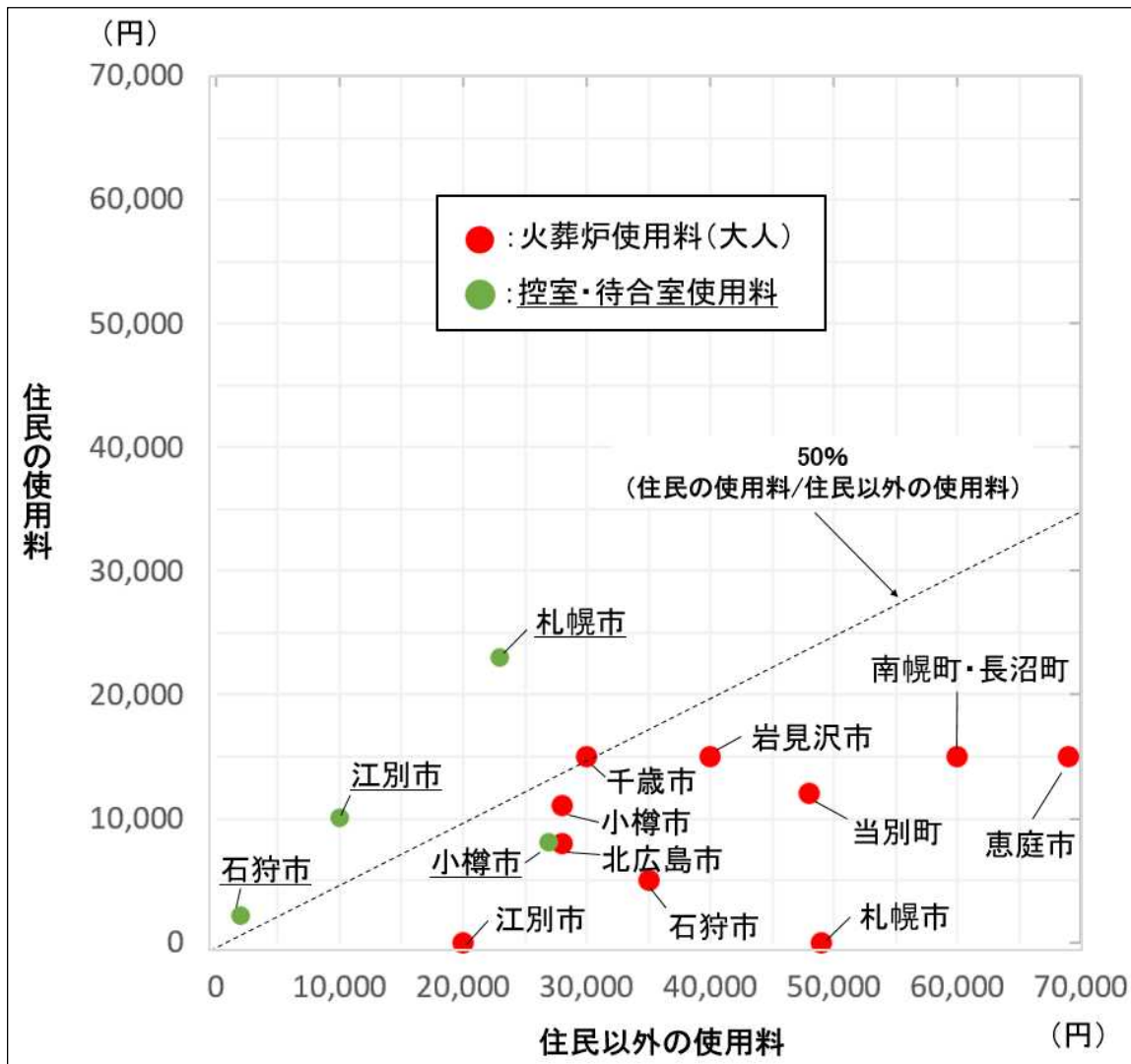
No.	市町村	名称	共用開始(築年数)	大規模改修実施時期	今後の大規模改修・建替の予定	炉数・収骨室数	運営形態
①	札幌市	里塚斎場	1984年(38年)	2007年6月～2008年3月	現在検討中	30炉・8室	直営(一部委託)
②		山口斎場	2006年(16年)	-	なし	29炉・14室	PFI事業(BOT)
③	江別市	江別市葬斎場	1989年(33年)	2015年4月～2017年8月	未定	5炉・2室	指定管理
④	小樽市	小樽市葬斎場	1991年(31年)	-	改修R2～7実施中	6炉・3室	直営
⑤	石狩市	石狩斎場	1987年(35年)	-	なし	3炉・1室	指定管理
⑥		厚田斎場	2000年(22年)	-	なし	1炉・無	指定管理
⑦		浜益斎場	2008年(14年)	-	なし	1炉・無	指定管理
⑧	岩見沢市	浄安殿	1990年(32年)	-	なし	5炉・2室	指定管理
⑨	北広島市	北広島市葬斎場	1974年(48年)	2003年8月～12月	現在検討中	4炉・1室	直営
⑩	恵庭市	恵浄殿	1994年(28年)	2005年～2006年	なし	4炉・2室	指定管理
⑪	千歳市	千歳市葬斎場	1998年(24年)	-	なし	5炉・2室	指定管理
⑫	南幌町 長沼町	南空知葬祭組合 伏古斎苑	2000年(22年)	2020年～2021年	なし	6炉・2室	直営(一部委託)
⑬	当別町	みどりヶ丘葬苑	1977年(45年)	2019年6月～11年	なし	2炉・1室	直営
-	新篠津村	-	-	-	-	-	-



- 半数以上の火葬場が供用開始から**30年以上経過**している。
- 札幌市の2つの火葬場がそれぞれ30炉、29炉と大きく、その他は6炉から1炉である。
- 運営形態は指定管理が多く、また直営でも一部業務を委託している自治体もある。

【火葬場使用料】

図1：火葬炉使用料（大人）と控室・待合室使用料のグラフ



【火葬炉使用料（大人）、控室・待合室使用料】

	火葬炉使用料（大人）			控室・待合室使用料		
	住民 (円)	住民以外 (円)	住民以外の使用料に対する住民の使用料の割合	住民 (円)	住民以外 (円)	住民以外の使用料に対する住民の使用料の割合
札幌市	0	49,000	-	23,000	23,000	100.0%
江別市	0	20,000	-	10,000	10,000	100.0%
小樽市	11,000	28,000	39.3%	8,000	27,000	29.6%
石狩市	5,000	35,000	14.3%	2,060	2,060	100.0%
岩見沢市	15,000	40,000	37.5%	-	-	-
北広島市	8,000	28,000	28.6%	-	-	-
恵庭市	15,000	69,000	21.7%	-	-	-
千歳市	15,000	30,000	50.0%	-	-	-
南幌町	15,000	60,000	25.0%	-	-	-
長沼町	-	-	-	-	-	-
当別町	12,000	48,000	25.0%	-	-	-
新篠津村	-	-	-	-	-	-

■：最大値 ■：最小値

【●：火葬炉使用料（大人）】

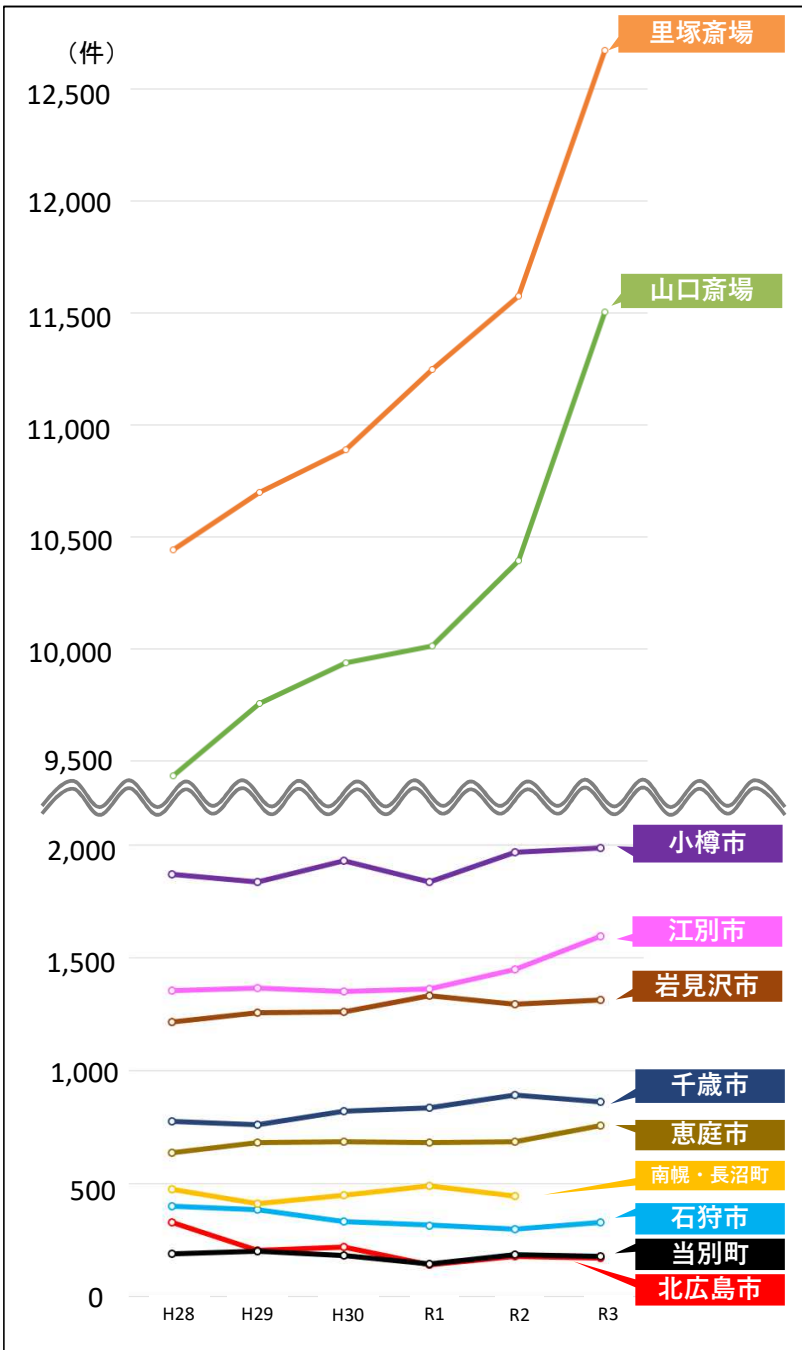
- 住民の使用料：平均 9,600円 (0円を除くと12,000円) (最大値：15,000円、最小値：0円)
- 住民以外の使用料：平均40,700円 (最大値：69,000円、最小値：20,000円)
- 住民以外の使用料に対する住民の使用料：平均 約30% (最大50%、最小0%)

【●：控室・待合室使用料】

- 控室・待合室使用料を設定しているのは4市
- 住民の使用料：最大値：23,000円、最小値：2,060円
- 住民以外の使用料：最大値：27,000円、最小値：2,060円
- 小樽市を除き、住民と住民以外の使用料が同額

【各自治体の火葬実績】

図2：さっぽろ圏域における各自治体の火葬実績

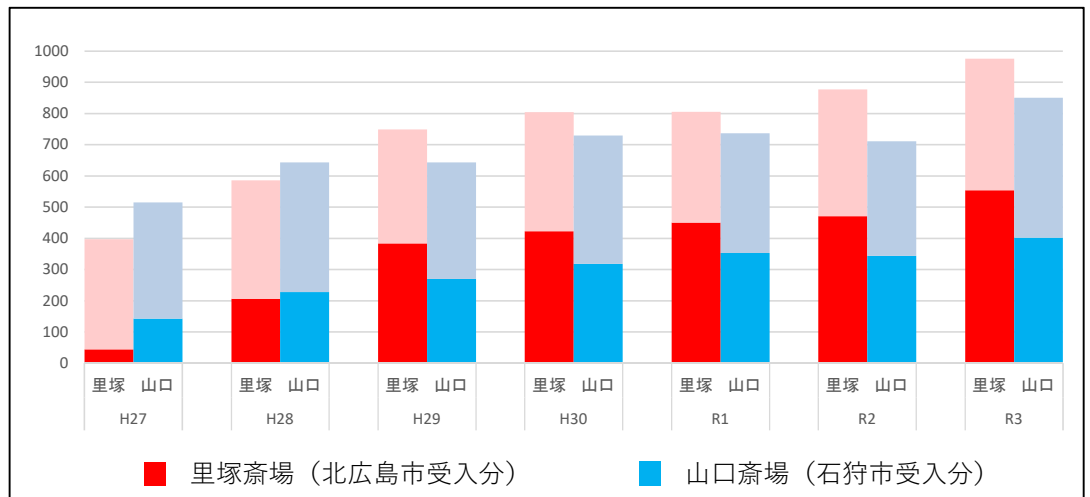


札幌市は増加傾向 ↗

他の自治体はほぼ横ばい →

【市外受入件数】

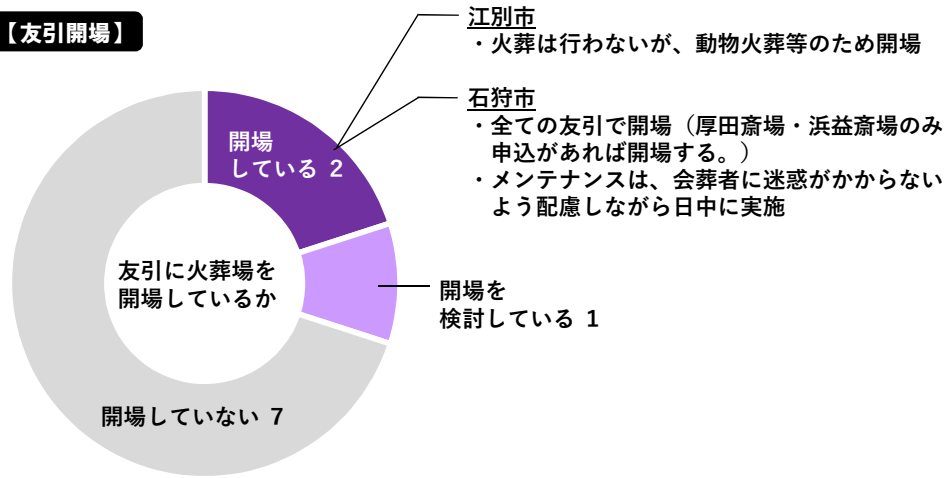
図3：札幌市の市外受入件数



	里塚斎場	山口斎場
市外受入割合 (R3)	<p>里塚斎場 市外受入割合 (R3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 北広島市 56.8% その他 37.5% 石狩市 2.6% 江別市 3.2% 	<p>山口斎場 市外受入割合 (R3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 石狩市 48.1% その他 39.4% 小樽市 8.7% 当別町 3.7%
協定等	<p>【北広島市】 (H28.9開始)</p> <p>北広島市民は、北広島市に同市斎場使用料同額の8,000円を納入し、里塚斎場を利用。札幌市は、北広島市に対し、49,000円の納入通知書を作成し送付</p>	<p>【石狩市】 (H27.10開始)</p> <p>石狩市民は、山口斎場で49,000円を支払い、後日、石狩市にて手続きをすることで差額の44,000円を市民に補助(還付)</p>

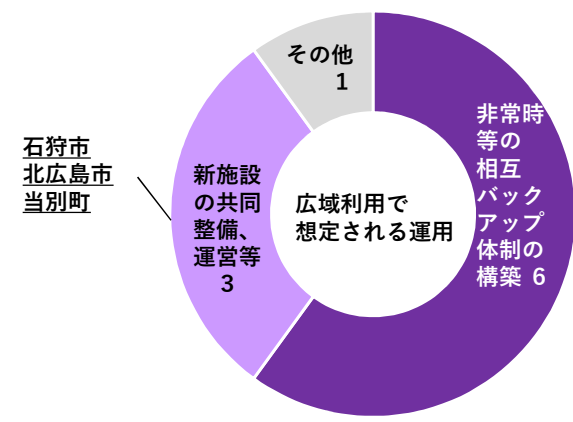
- 札幌市における市外受入件数は毎年増加傾向
- 北広島市及び石狩市とは協定等を結んでおり、受け入れ件数が多い

【友引開場】



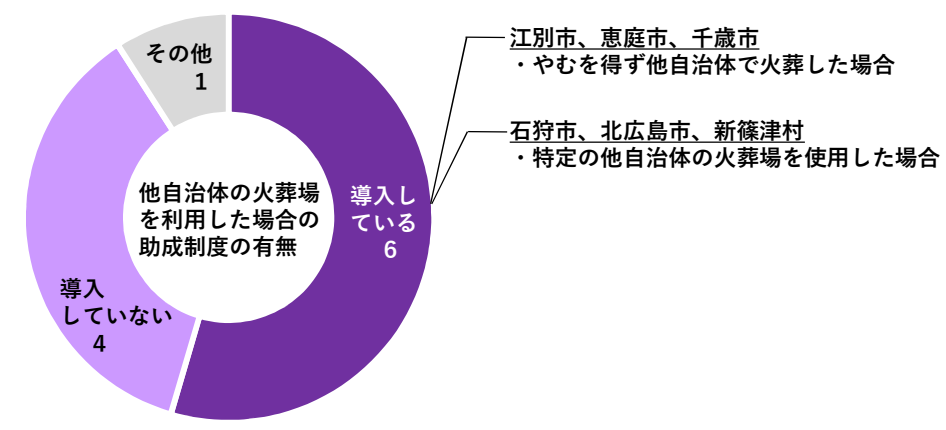
- 友引に開場していない市町村が大多数。風習で需要が少ない等の理由が多い。
- 友引に開場しなくても、対応可能な範囲におさまっていることも要因

【広域利用の考え方】



- 大規模修繕時や非常時における相互バックアップ体制の構築に関する意見が多い。
- 共同で新たな施設を整備し、運営や既存施設を他自治体の住民も利用できるようにするとの意見もある。

【他自治体の火葬場を利用した場合の補助制度】



- 半数以上の自治体で助成制度を導入している。
- 火葬場が修繕等で休業している際に、他の自治体の火葬炉を利用する場合の差額負担をしている場合もある。

【今後の予定】

<全体での協議>

- 札幌市の火葬件数は、他自治体に比べ圧倒的に多いため、他自治体でバックアップ対応を構築することは困難
- 他の自治体の火葬場は、老朽化が進んでいるが、多くは大規模改修を行いながら、今後も運営を継続。その上で、非常時のバックアップ体制の構築を希望している。

↓

今回開催したことで、連携を検討する体制が整った。今後も定期的に協議を継続する。

<個別の協議>

- 札幌市での受け入れが多い北広島市及び石狩市は、非常時の連携にとどまらず、常時の連携を希望している。

↓

札幌市の市外受入件数に大きな影響があることから、個別に協議を行っていく

火葬場の広域利用に関する協議事項

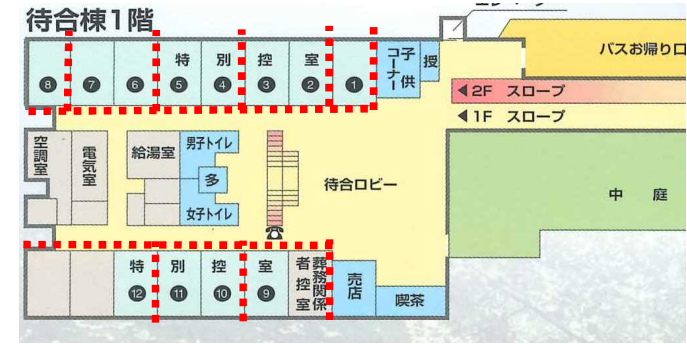
- 広域連携に関する協議の進め方について
- 個別の協議を進める上での検討事項について（予約システム、里塚斎場再整備、札幌市の受け入れ拡大による事務負担増）

1 調査の目的・趣旨

里塚斎場では、火葬中の待ち時間に会葬者が利用する有料の特別控室の利用率が年々低下してきており、無料で利用できる待合ロビーの満席の状態が見受けられ、特に、火葬件数が多い友引明けの午前中に混雑が集中しているため、少しでも、多くの会葬者が座れるように検討をする

2 待合ロビーの拡張と特別控室の小規模化(低価格化)について

- 里塚斎場の待合棟は、廊下を挟んで待合ロビーと特別控室が配置されている建物となっています。
- 廊下と待合ロビーの壁は耐力壁となっており、建物の構造上、壊すことができない壁になっているため廊下の壁を撤去してロビーを広げたいが、拡張することができません。(耐力壁を赤点線で記載)
また、特別控室と特別控室の間仕切り壁が1つおきに同様の耐力壁になっている
(例: 子どもコーナーと特別控室①)
- 今の特別控室に新しい間仕切りを設置し、1つの特別控室を小さな2つの特別控室に分けることを検討しましたが、これら耐力壁のため、現在の特別控室入口は残さなければならず、特別控室に入ってからさらに廊下を作って2つの入口を作る必要があり、部屋が非常に小さくなるとともに、窓の無い部屋ができてしまいます。



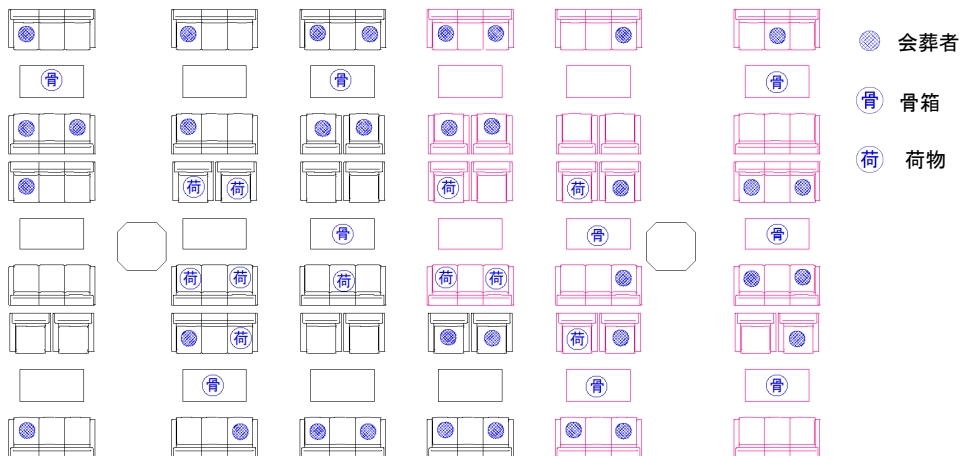
3 待合ロビーのレイアウトについて

ロビー利用状況の実態を把握するための調査では、現状のレイアウト変更前は、ソファは5人掛けまたは6人掛けであるが、ロビー利用者のおよそ1/4は2人以下で利用している状況で、テーブル満席でも空席が40~50%生じている。ロビーの広さを変更することが困難なためロビーを効率良く使用、混雑緩和に向けた対応をするためレイアウト変更で検証する(赤線が変更部分)。

待合ロビーレイアウト変更前

12月14日 10時30分

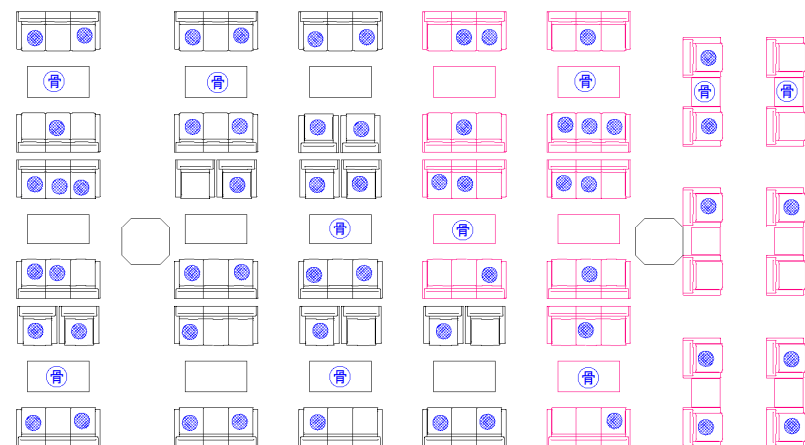
	テーブル数 (組)	席数 (席)
5人掛け	12	60
6人掛け	6	36
合計	18	96



待合ロビーレイアウト変更後

3月4日 10時30分

	テーブル数 (組)	席数 (席)
2人掛け	6	12
5人掛け	6(6減)	30
6人掛け	9(3増)	54
合計	21(3増)	96



4 調査結果

レイアウト変更前

<火葬の状況>

	調査日	火葬件数	特別控室 利用件数	ロビー 利用件数	会葬者なし 件数	特別控室 利用率
1	2021年12月10日(金)	39	23	14	2	59%
2	2021年12月12日(日)	39	25	13	1	64%
3	2021年12月14日(火)友引明け	41	24	14	3	59%
4	2021年12月17日(金)	31	16	13	2	52%
5	2021年12月20日(月)友引明け	59	34	22	3	58%
6	2021年12月26日(日)友引明け	55	34	21	0	62%
7	2022年 1月 6日(木)友引明け	60	34	21	5	57%

<テーブル満席時間帯>

※テーブル全18組利用状態の時間帯は網掛け部

		9:30	9:45	10:00	10:15	10:30	10:45	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00	12:15	12:30	12:45	13:00	13:15	13:30
12/10	テーブル使用	-	-	-	-	16	-	17	-	18	-	11	-	-	-	-	-	-
	ロビー組数	1	2	2	4	7	7	6	5	7	4	3	4	4	4	2	3	
12/14	テーブル使用	3	3	10	9	18	18	18	17	18	10	12	8	7	-	-	-	-
	ロビー組数	3	4	5	6	11	12	9	8	6	5	4	2	2	2	2	1	0
12/20	テーブル使用	2	5	7	11	14	18	17	16	10	-	10	16	16	14	18	-	-
	ロビー組数	2	4	7	11	13	13	12	9	6	4	4	6	7	7	7	8	8
12/26	テーブル使用	2	4	5	9	12	15	15	10	13	18	18	17	17	17	11	11	-
	ロビー組数	2	5	6	8	10	9	7	7	6	8	9	12	10	9	7	7	5
1/6	テーブル使用	-	6	9	11	13	18	18	18	18	18	15	15	16	16	12	-	-
	ロビー組数	4	5	5	8	8	10	7	7	6	8	8	7	8	7	7	5	4

会葬者
1
8
人
/
組

座席利用率
(テーブル満席時)
54.6%

実態調査では、一部の時間でテーブル満席状態となったが、立待ちの発生するような状況はほとんど無かった。

濃い青色が満テーブル
薄い青色が8割以上使用

5 検討の結果

- ロビーエリアを拡張(特別控室の壁を撤去しロビー利用に改修)
特別控室と廊下の仕切壁が耐力壁であるため、壊すことができず、ロビーの拡張ができない。
- 特別控室の小規模化
特別控室と特別控室の間仕切り壁が1つおきに耐力壁になっていることや、廊下の間仕切りも撤去できないので、現在の1つの特別控室を小さな2つの特別控室するのは、非常に困難
- テーブル・イスのレイアウトの検討(2人掛けを設置)
今回の実態調査で、ロビー利用者のおよそ1/4は2人以下で利用している状況で、テーブル満席でも空席が40~50%生じていることが判明した。現在使用しているイスとテーブルの一部レイアウトを変更することにより2人掛けを6組設置などで、待合ロビーのテーブル利用状況が改善した。

レイアウト変更後

<火葬の状況>

	調査日	火葬件数	特別控室 利用件数	ロビー 利用件数	会葬者なし 件数	特別控室 利用率	
まん延防止重点措置	1	2022年2月21日(金)友引明け	64	30	19	15	47%
	2	2022年2月27日(日)友引明け	70	41	22	7	59%
	3	2022年3月4日(火)友引明け	66	29	25	12	44%
	4	2022年3月10日(金)友引明け	71	35	26	10	49%
	5	2022年3月16日(月)友引明け	52	32	15	5	62%
6	2022年5月6日(金)友引明け	50	28	22	0	56%	
7	2022年5月12日(木)友引明け	62	34	26	2	55%	
8	2022年 5月 18日(水)友引明け	71	34	35	2	48%	
9	2022年 5月 24日(火)友引明け	64	33	28	3	52%	

<テーブル満席時間帯>

※テーブル全21組利用状態の時間帯は網掛け部

		9:30	9:45	10:00	10:15	10:30	10:45	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00	12:15	12:30	12:45	13:00	13:15	13:30
2/21	テーブル使用	0	3	6	10	14	13	12	13	11	7	9	8	-	-	-	-	-
	ロビー組数	1	3	7	10	11	12	11	7	4	3	2	0	-	-	-	-	-
2/27	テーブル使用	7	9	16	16	17	18	20	19	13	18	15	-	-	-	-	-	-
	ロビー組数	5	7	9	10	10	8	8	6	4	7	7	9	7	8	-	-	-
3/4	テーブル使用	3	7	10	19	21	21	19	15	14	12	9	-	-	-	-	-	-
	ロビー組数	2	4	6	11	15	16	13	11	10	9	7	9	8	-	-	-	-
3/10	テーブル使用	3	10	14	21	21	18	20	19	16	13	17	-	-	-	-	-	-
	ロビー組数	3	6	13	15	15	14	12	11	6	6	9	8	9	7	-	-	-
3/16	テーブル使用	2	6	8	15	18	17	16	10	11	12	9	-	-	-	-	-	-
	ロビー組数	2	5	7	8	10	10	8	8	7	6	6	5	3	3	-	-	-
5/6	テーブル使用	4	8	14	15	17	18	16	10	12	14	13	15	-	-	-	-	-
	ロビー組数	2	4	10	11	11	12	11	7	8	8	9	9	-	-	-	-	-
5/12	テーブル使用	10	10	16	18	19	20	14	19	14	19	14	17	-	-	-	-	-
	ロビー組数	3	5	9	10	13	13	9	11	9	10	6	8	-	-	-	-	-
5/18	テーブル使用	7	12	14	18	21	16	12	19	17	15	13	18	-	-	-	-	-
	ロビー組数	4	8	11	14	17	13	11	11	12	12	11	9	-	-	-	-	-
5/24	テーブル使用	3	6	8	12	19	19	19	17	18	20	17	17	-	-	-	-	-
	ロビー組数	2	4	6	8	10	13	12	10	10	11	10	8	-	-	-	-	-

会葬者
8
・
3
人
/
組

会葬者
11
・
5
人
/
組

座席利用率(テーブル満席時)

まん延防止期間
60.2%(2人掛け68.8%)

その他の期間

59.4%(2人掛け83.3%)

濃い青色が満テーブル
薄い青色が8割以上使用

6 考察

- ロビーエリアの拡張や特別控室の小規模は、現実的ではないことが分かった。今後、特別控室の利用率を向上させるための一手段として、火葬料金の改定の際に合わせて、料金の見直し検討をしていきたい。
- テーブル満席時の座席利用率はレイアウト変更後、テーブル満席時間帯が減少したことから、効率よく座席を利用されていると考えられる。
- レイアウトの変更は一定の効果があったものの、季節的要素もあるが、特に友引明けの日は、満席で会葬者に不便をかけることがある。しかし、来年度をメドに導入される火葬予約システムにより現状の先着順から予約となるので、ロビーの満席状態は緩和が期待される。